

岡山県の伝承民謡の調査及び継承支援 普及のための公演を実施

岡山民謡同好会

活動の目的

各地に遺存する民謡を調査採集し、広く一般に発表し後世への伝承の契機を提供する。

活動の内容及び経過

春以降、岡山県内各地（倉敷市本町・連島町/岡山市北区表町・横井 他）に調査に赴き、伝承の現状の聴取や採録・採譜を行った。また調査研究成果を活用しながら、公演に用いるための舞台用伴奏を考案し、一般向けに唄いやすく編曲作業を行った。あわせて、盆踊り曲については現地での聴き取り調査や過去の資料をもとに旧来の振り付けを復元し、伝承団体（保存会）の活動を技術面（音頭取りの歌唱/踊り型の調査等）から支援した。

こうした活動を続けながら、県内の伝承民謡に関する、詞章、旋律、伝承状況等をまとめて舞台化し、一般向けに成果紹介行事として「埋もれた伝統文化継承のためのコンサート/岡山の伝承民謡百選」を2019年10月6日に岡山市北区・さん太ホールにおいて3時間にわたって開催した。

この公演では、当会会員による県内の伝承民謡の演唱のほか、岡山市北区の伝承団体（横井上四ツ拍子保存会）や倉敷市本町の伝承者（阿智神社氏子向市場有志）等の出演もあり、岡山県の貴重な祭礼唄・民俗舞踊を中心に約30曲を紹介した。

また、県内各地の祝唄、伝統産業（酒造、麦稈真田組、製塩、林業等）に関わる労作唄、岡山城下町伝承の俗謡等を所作や寸劇を盛り込みながら紹介し、各伝承民謡の歴史や系譜について民俗学的観点から解説を立石憲利氏が行うなど、伝統的民俗芸能に対する一般の理解が深まるよう構成演出した。

なお公演後半には、東北地方（宮城県）から招聘した民謡家によって、東日本大震災の被災地に伝承される民謡を多数実演紹介し、民謡文化の異同を比較鑑賞する機会を設けた。

公演後は、舞台用に制作した伴奏譜（邦楽譜）を順次五線譜化する作業を行い、合わせて各伝承民謡の調査成果の文章化を進め、今回の活動で得られた知見の集約を行っている。

活動の成果・効果

多くの伝承民謡について保存と今後の普及のための調査資料が得られたほか、活動の過程で伝承地の地域住民の方々の意識が高まり、(旧備前國の貴重な伝承盆踊り音頭でもある)「備前四ツ拍子」の伝承団体「横井上四ツ拍子保存会」の活動が活発となり、夏には地元の夏祭りで大規模な



伝承盆踊りとして復活されたことは、大きな成果であったといえる。

2019年10月6日に行った公演の際には約200名の来場者があり、岡山県の知られざる民謡に数多く触れる好機を提供できた。民謡・民舞の公演でありながら、10代～20代の若年層の出演者もあり、伝承のための下地づくりに寄与できたと考えている。

公演直後の秋祭りシーズンには、一般鑑賞者から地元の祭礼唄について詳細な調査資料の提供を要望される等、伝承機運の高まりを感じさせる反響もあった。

今後の課題と問題点

今回の活動は、伝承民謡の普及継承の一助となったと感じているが、岡山県内にはまだまだ未調査・未採譜の民謡が多数（確認されているだけで一千曲以上）あり、当会の活動だけでは、継承の体制が不十分であると言わざるを得ない。

とりわけ、保存活動の担い手や公演観覧者は、依然として高齢者が中心であり、若い世代の参加がまだまだ進んでいないといえる。

今後、郷土の文化遺産でもある伝承民謡の保存継承の輪が、民謡以外の音楽・文化活動団体等にも広がっていくような取り組みを進めていかなければならないと痛感している。

- 代表者：村田耕泉 ●所在地：岡山市北区桑田町
- TEL：086-223-7919
- 設立年：1973年 ●メンバー数：33名